

J-203S メンテナンススタンド ハイタイプシングル 組立手順

このたびはJ-203Sをお買い上げいただきありがとうございます。
組み立てる前に下記を良く読んで組立をしてください。

箱に入っているパーツを確認します。(5番の4個は1番に組まれています)
(18番と19個は1番に組まれています)

NO	品番	品名	数
1	J-203S-1	メンテナンススタンド用レールフレームブラケット付	2
2	J-203S-2	メンテナンススタンド用受高さフレーム380ミリ	4
3	J-203S-3	メンテナンススタンド用ビームフレーム580ミリ	2
4	J-203S-4	メンテナンススタンド用補強バー470	2
5	IB040090AA	38角ブラケット90mm (旧品番JS205)	8
6	JL807	ビーチスタンドカバー PVC1120mm	2
7	Z042S	メンテナンススタンド用自在ストッパーキャスター	4
8	JL805	メンテナンススタンド用テンションプレート1290ミリ	2
9	P04-6-55	SUS六角ボルト6-55	8
10	P05-06	SUSスプリングワッシャーM6	8
11	P07-06	SUSナットM6	8
12	P04-8-55	SUS六角ボルト8-55	8
13	P05-08	SUSスプリングワッシャーM8	8
14	P07-08	SUSナットM8	8
15	P06-12	SUSワッシャーM12	4
16	P05-12	SUSスプリングワッシャーM12	4
17	P07-12	SUSナットM12	4
18	P03-6-52	SUSプラストラス6-52 切詰	8
19	P23-06	SUSフランジナットセレート付 M6	8
	J-203S-5	AL 90×20×2t スペーサー	4



コチラのQRコードより
弊社通信販売にて
交換部品販売しております。

1番のフレームに組まれています。

■使用する工具

◎スパナ10番、13番
もしくはモンキーレンチ

■ 組立をする前に完成写真をよく見て、全体のイメージを頭の中で作ってください。
各ネジ類を締める際は潤滑剤等を塗付して締めるようにしてください。

■ 組立手順

- ① レールフレームのブラケットのボルトを緩めます。
- ② ビームフレームにM6ボルト、スプリングワッシャー、ナットでブラケットを取付けて、そこにM8ボルト、スプリングワッシャー、ナットで受高さフレームとテンションプレートを取付けます。
- ③ レールフレームのブラケットを受高さフレームに差込んでM8ボルト、スプリングワッシャー、ナットで補強バーと一緒に取付ます。
- ④ ブラケットを上から見て(板状)スペーサーの隙間が無くなるまでボルトを締めます。
注意！ レールブラケット部分のボルトの向きは丸い先端の部分が内側にて六角ナットは外側です！
- ⑤ キャスターをM12ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットで取付ます。
- ⑥ 最後にカバーを上からハメ込んで完成です。

■使用上の注意

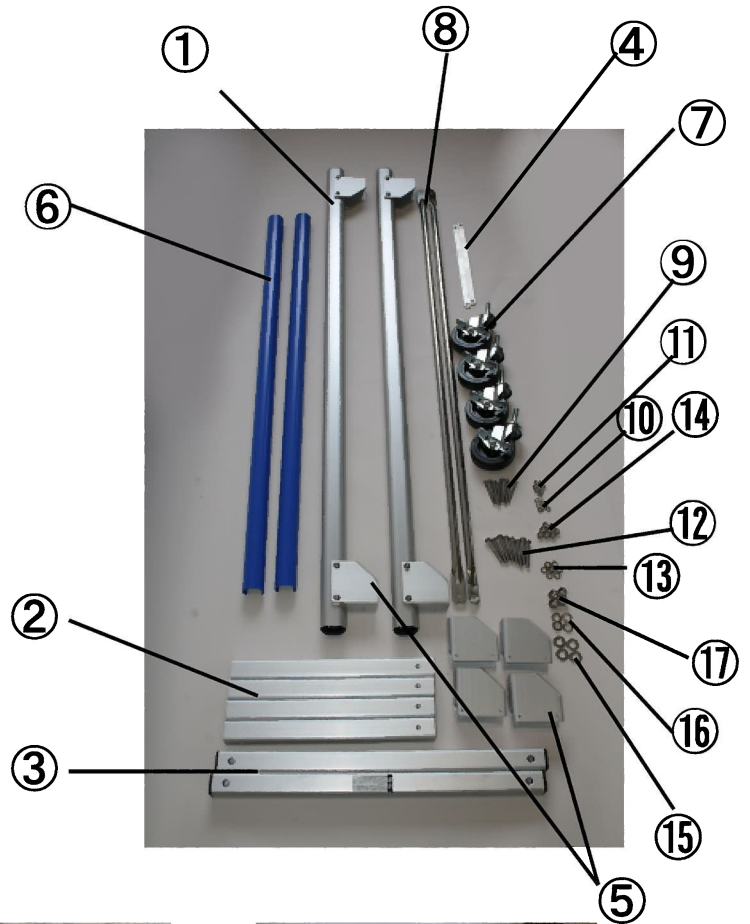
- 高い位置からの乗せ移し(トラック荷台等)は危険です、スタンドの破損の原因になります。
- ジェットを真上からドスン！と乗せると破損します、必ずゆっくり降ろすか前後からスライドさせて乗せてください。
- ジェットの上に人を乗せての積載は破損しますのでおやめください。
- ご使用前必ずボルト&ネジ類、ベルトのゆるみがないか確認してください、ゆるんだまま使用しますと事故破損の原因になります。
- 適応艇以外の艇は乗せないでください、破損の原因になります。
- 転覆等で水が浸入した艇は予想以上に重量が増えていますので必ず排水してから乗せてください。
- 極端にすり減ったレールカバーでのご使用は船体が傷つく恐れがあります、必要に応じて交換してください。
- 万一誤った組立て、もしくは使用方法でのトラブルには応じかねますのであらかじめご了承ください。
- 不明な点、その他お問い合わせありましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。

J-203S メンテナンススタンド シングル用



完成写真

●スタンドアップシングル艇以外は積載しないでください！破損の原因になります。その他使用上の注意をご確認ください。



① レールフレームのブラケットのボルトを緩めます。



②-1 ビームフレームにM6ボルトでブラケットを取付けて、そこにM8ボルトで受高さフレームとM8ボルトでテンションプレートを取付けます。



③-1 レールフレームのブラケットを受高さフレームに差込んでM8ボルトで固定します。



③-2 補強バーをブラケットにM8ボルトで取付けます。



④ ブラケットを上から見て(板状)スペーサーの隙間が無くなるまでボルトを締めます。



⑤ キャスターをM12ワッシャー、Sワッシャー、ナットで取付けます。



最後にカバーを上からハメ込んで完成です。



注意！
レールブラケット部分のボルトの向きは丸い先端の部分が内側で六角ナットは外側です！

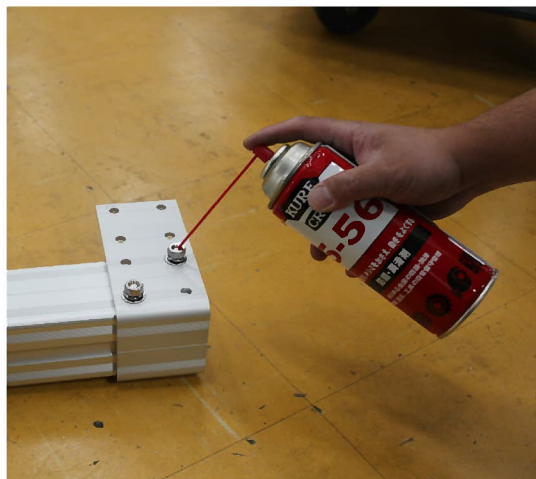
<<ボルトの締め付け、取扱い注意>>

ステンレスのボルトやナットをインパクトレンチなどで急激に締め付けるとネジの嵌め合い部で摩擦による熱が発生し、その熱によってネジ部が膨張し、オネジとメネジが密着し焼付きを起こし動かなくなることがあります。そのまま締め付けていくとボルトが折れることもありますのでご注意ください。また必ず潤滑剤を塗布してから締め付けをしてください。

ナイロンナットにはすでにオイル等を塗布してパックされていますが、地面に落としたり、砂埃で砂が付着した際はきれいにしてから再塗布をし締め付けをしてください。



急激な 締め付け注意！



潤滑剤を塗布してください。